

■ 駅周辺エリアデザイン基本コンセプト

【広域交通拠点における空間デザイン】

- ①コンパクトな空間に必要な機能を備えた、利用しやすい駅や駅前広場
- ②駅利用者が二次交通と円滑に乗換できる交通結節機能
- ③駅利用者のニーズに対応した段階的な整備
- ④技術革新（自動運転など）を踏まえた交通空間の構築
- ⑤利用規模に応じた「名古屋駅」との機能分担
- ⑥各種施設・空間の多機能化(イベント時・災害時など)

【景観・環境デザイン】

- ①千旦林川を活用し「清流の国ぎふ」のイメージをアピールできる親水性のある空間づくり
- ②駅からの眺望を重視し恵那山などの自然景観との融合した駅前空間
- ③都会との違いを創出
- ④地元の素材を活用し、地域の魅力を発信
- ⑤リニア利用者と地元住民が集う賑わい空間を創出
- ⑥中津川で営まれてきた歴史や文化を演出

■ 駅周辺エリア整備方針

○ 連絡施設イメージ 【広交③④】 【景環②③】

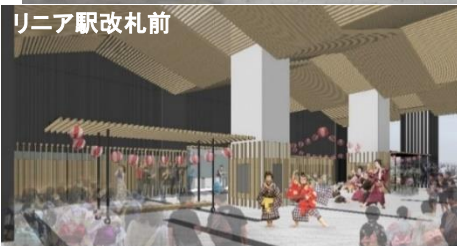


北口駅前広場

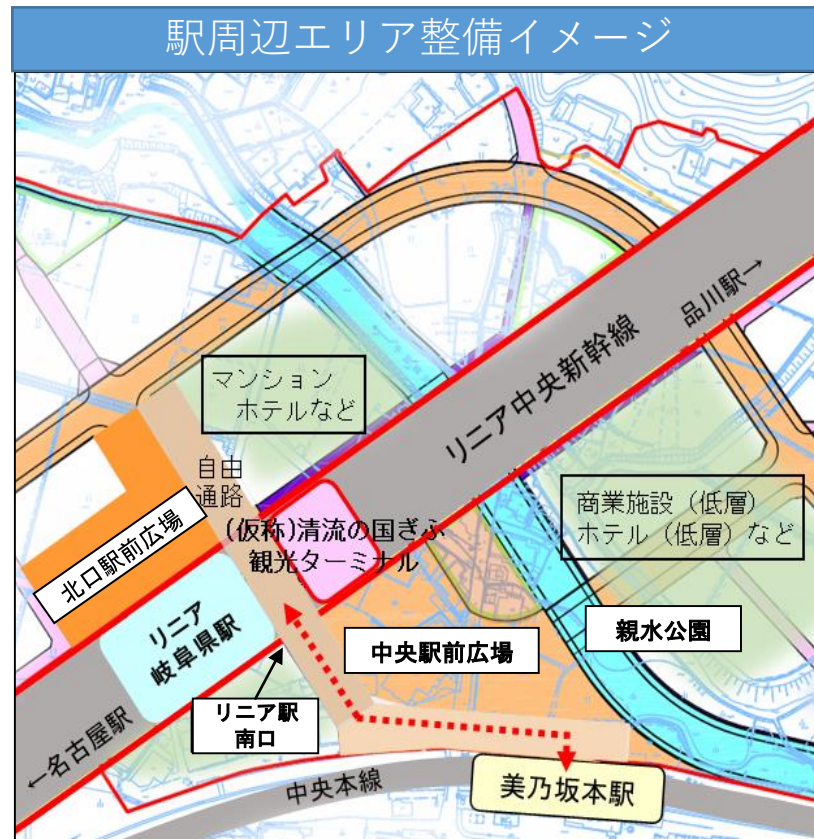
- ・私的交通中心、隣接して駐車場機能を配置(自動運転など技術革新を見据えたスペースも確保)



リニア駅南口



- ・「清流の国ぎふ」への来訪者を出迎える空間
- ・中山道の街並みと同調
- ・地元産材を活用



美乃坂本駅

- ・リニア駅南口や北口と一体的なデザイン

○ 親水公園イメージ 【景環④】



親水公園

- ・千旦林川沿いに親水性のある斜面広場と公園を整備
- ・河川沿いに小道を作り、回遊できる空間を確保

○ 駅前広場イメージ 【広交①②⑤⑥】 【景環④⑤⑥】



中央駅前広場



恵那山の眺望

- ・景観、自然に配慮したコンパクトな駅前広場
- ・バリアフリーで二次交通へ円滑な乗換
- ・イベント会場や災害時一時避難場所
- ・地元の樹木や産材を配置

■ 駅周辺エリア土地利用イメージ (広域)



ホテル

- ・ 来訪者の移動拠点
- ・ 豊かな自然を生かしたリゾート感



(仮称)清流の国ぎふ観光ターミナル

- ・ 観光の拠点となるターミナル機能 (県内情報、休憩場、物産販売等)



駐車場

- ・ 自家用車でストレスなく駐車、駅周辺施設にスムーズに移動



道の駅など

- ・ 地元野菜や特産品などの販売
- ・ 来訪、地元の立ち寄り施設



住宅街

- ・ 土地区画整理事業により暮らしやすい住宅街(移住、定住促進)



飲食店



遊び場

- ・ 川沿いの散策や遊び場、憩いの場

■ 駅周辺エリア整備スケジュール等

○ 施設整備スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9
駅前広場		設計		工事	準備	供用開始
連絡施設		設計		工事	準備	供用開始
親水公園		設計		工事	準備	供用開始

○ 管理・運営

- ・ 各施設の整備、管理及び運営については、今後民間活力導入も含めて検討し、行政と民間が一体となって駅周辺のまちづくりを進める。

○ 事業費

- ・ 「リニア岐阜県駅周辺概略設計」(平成28年3月)において想定された概算費用については、今後各施設の設計を進める中で、詳細を詰めていく。

■ その他

- ・ 駅周辺整備にあたっては、新たな技術を活用し、持続可能な施設となるよう、「Society5.0への対応」、「SDGsの取組み」、「バリアフリーの実現」に十分配慮しながら検討を進める。
- ・ 岐阜県内で生産される様々な素材、市町村を象徴する植樹、県産品等を活用し、岐阜県、中津川らしさを表現していく。